

運動会の練習がスタート！

5月28日（日）の運動会に向けて、練習に取り組んでいます。

1～5年生は、徒競走・団体競技の2種目、6年生は、リレー・団体競技・表現運動の3種目の競技を行います。日中は、気温が上がり、暑い中ではありますが、一生懸命に練習をしている様子が伝わってきます。

今年は、全校児童がグラウンドに集まり、他のブロックの競技を観覧し合うことが出来ます。子供たちも、大変楽しみにしています。

保護者のみなさまには、入れ替え制ということでご不便をおかけしますが、思いっきり体を動かし、友達と一緒に取り組むことを楽しむ子供たちの姿をご参観ください。

運動会についての詳細は、先日プリントを配布しておりますので、ご覧ください。



おねがい！

○十小自由参観weekについて

6月21日（水）22日（木）の3・4時間目に予定しています。

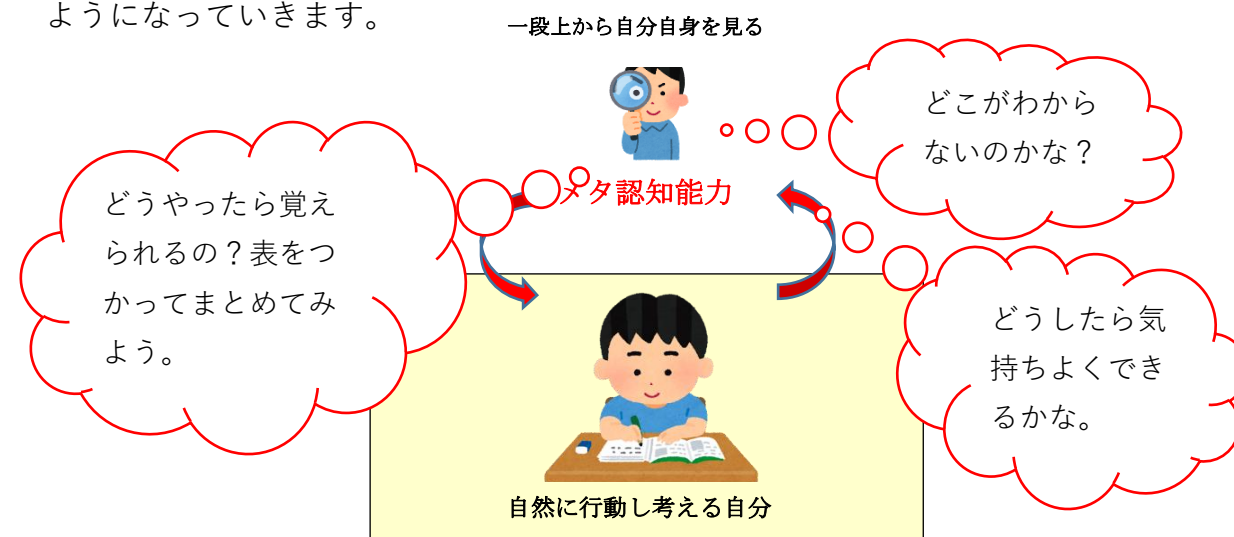
- ・保護者の方に教室内で参観していただくため、区毎に時間を設定しています。
- ・期間中1家庭1回2名まで、1単位時間（45分）程度でご参観ください。
- ・詳細については、後日ご連絡いたします。
- ・低・中・高学年で時間設定が違います。日課表をテトルで配信しますので参考にしてください。

～メタ認知とは～

本校では、『メタ認知』を取り入れた家庭学習に取り組んでいます。今回は、『メタ認知』についてご紹介します。『メタ認知』とは「自分が認知している物事を客観的に認知し、さらに自身の課題や問題点に気づき、考え方や行動をコントロールするための能力」のことです。よりわかりやすくいえば、メタ認知とは「自分の思考や行動を客観的にとらえること」となります。

メタ認知能力が発達すると、子どもには様々な変化が現れます。例えば友達と話す時に相手がつまらなさそうにしていたら、「自分ばかり話しすぎたかな？」「友達は興味がない話かもしれない」と気づき、「友達が好きなことについて聞いてみよう」等、行動を変えていけるようになります。

また、学習においても「わかる」「わからない」という単純な判断から、「どこがわからないのだろう？」「〇〇の方法にすればどうだろう。」などの考え方ができるようになっていきます。



苦手なことに取り組まなければいけない時、「やりたくない」と悩んだり、避けたりすることがありますが、客観的な視点を持つことができれば、「なぜ私はこれに取り組むことが嫌なのだろう？」「どうすれば気持ちよくできるのか？」という視点でとらえることができ、解決策を見出すことにつながります。このように、これから変化の激しい社会を生き抜く子供たちにとって、「メタ認知」の力は大切な意味を持つのです。

今後も、メタ認知についてや本校で取り組んでいる家庭学習の様子についても紹介していきます。